



山下 巧 議員

学校教育および子どもたちを取り巻く環境の現状について

問 食料品等の値上げに伴う、

学校給食費の追加補正予算は検討しているか

答

望ましい栄養バランスや量を保った給食が継続して提供できるよう、状況に応じ適切に対応していきたいと考えています

問 学校給食費無償化の対象とならなかつた児童生徒の保護者への補助金給付の実績は。

答 教育指導部長

68名の児童生徒に対して、合計297万7130円を交付しました。

問 食料品等の値上げに伴う追加補正予算は検討されているのか。

答 教育指導部長

今年度4月から6月の食材調達の単価は、昨年度と比較すると、食材によつては下がっているものがあります

が、全体として上昇傾向がみられ、今後の価格の動向については、状況を注視すべきであると認識しています。子どもたちの成長にとつて、望ましい栄養バランスや量を保った給食が継続して提供できるよう、著しい物価上昇や食材価格の変動がみられる場合には、献立計画や食材選定の工夫、予算の増額補正など、状況に応じて適切に対応していきたいと考えています。



問 追加補正が組まれた場合、昨年度導入された無償化の対象とならない児童生徒の保護者への補助金給付制度の見直しについても同時に検討されるべきではないか。

答 教育指導部長

補助金については、これまで給食費として負担いただいていた金額を基準に上限額を算定しています。現在は令和2年4月に改定した給食費を基にしています。令和2年の前は、平成20年4月から12年間給食費は改定していません。こうした経緯も踏まえて

今後の状況に応じて総合的に判断していきたいと考えています。なお、今後の社会動向により、保護者負担が著しく増すようであれば検討事項であると考えますが、アイカを支給が予定されており、そのことも併せてご活用いただきたいと考えます。

問 補助金は、給食費無償化の対象とならない方にアイカを使つてくださという意味合いではないのでは。

答 教育指導部長

短期的にはアイカなどの施策の中で対応していただければと考えていますし、給食費補助については、今までの経緯も踏まえて、今後の状況に応じて適切に判断していきたいと考えています。